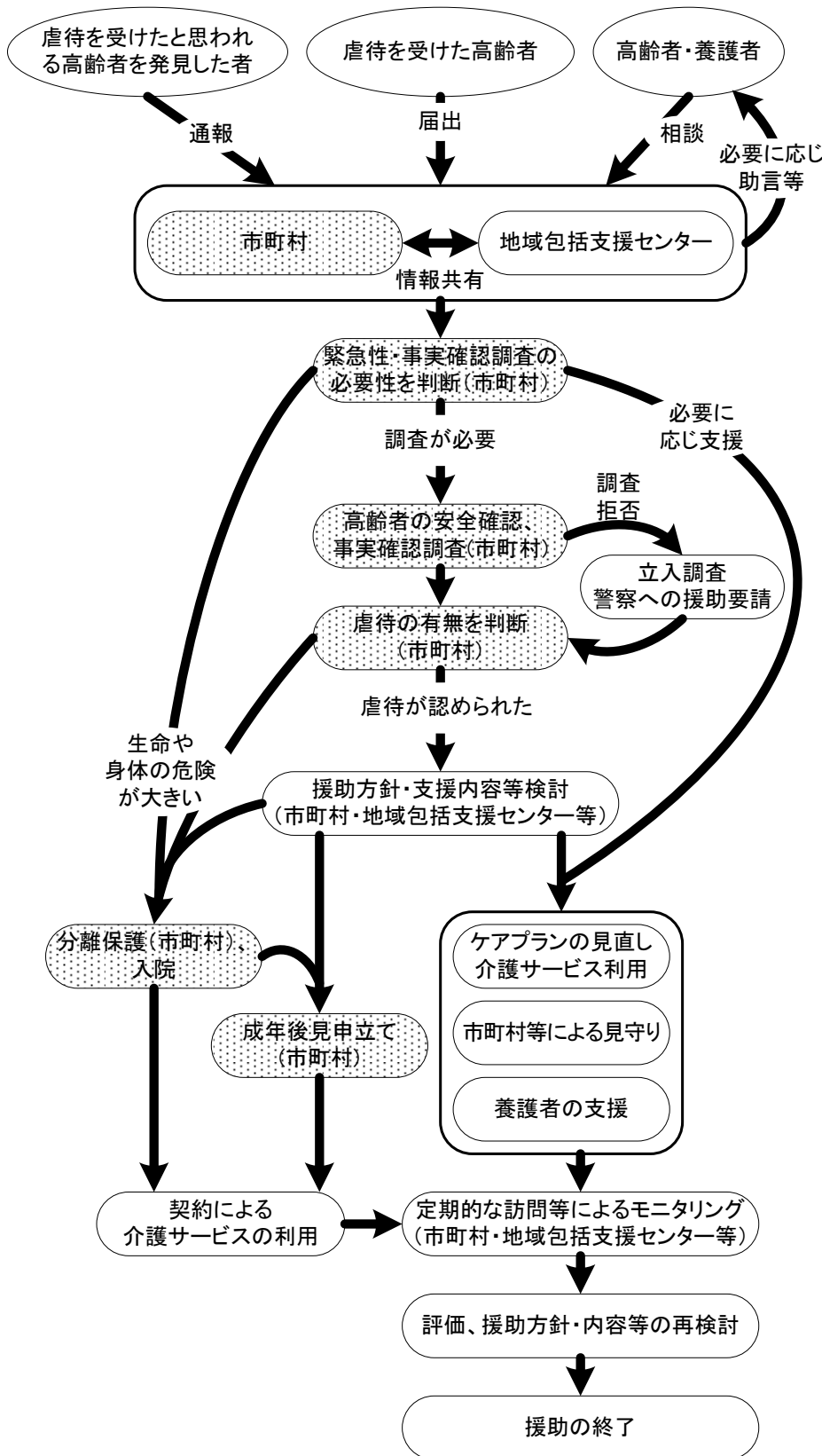


養護者による高齢者虐待対応事例集
Vol. 2

平成25年3月
神奈川県

養護者による高齢者虐待への対応手順



相談・通報
 相談・通報を受けた市町村、地域包括支援センターは、相談・通報者等から虐待の状況等を聴取り記録に残します。

緊急性・調査の必要性の判断
 市町村は相談通報内容から、緊急性・調査の必要性を判断します。「相談受理者が地域包括支援センター職員である場合には、地域包括支援センターが緊急性の判断を行うとともに、市町村の担当部局に速やかに連絡する(国マニュアルより)」

緊急性が高い場合は早急に安全確認を行い、支援を行います。
高齢者の安全確認・事実確認調査
 市町村は、高齢者の安全を確認するとともに、虐待の疑いについて調査を行います。

調査への拒否等があった場合、立入調査の実施や警察に援助申請を行う場合があります。
虐待の有無を判断
 調査後、市町村は虐待があったかどうか判断します。その際、専門家等の助言を受ける場合もあります。

援助方針等の検討
 市町村は、関係者とともに、支援方針や内容を検討し、役割分担を行います。

支援
 必要に応じ分離保護や、ケアプランの見直し等を実施します。

定期的なモニタリング
 家庭等の訪問等により、再度虐待が発生していないか。支援が有効かどうか等についてモニタリングを行います。

評価・援助方針等の再検討
 支援の有効性を評価し、虐待が再度発生していないか評価します。

援助の終結
 虐待が再度発生していないこと等の評価結果に基づき、援助を終了します。

対応手順は、あくまでも基本的なものです。事例により対応方法が変わります。

緊急性の判断

受付記録をもとに、担当部局管理職、相談受理者、地域包括支援センター等のコアメンバーにより、直ちに緊急性の判断を行います。

緊急性が高いと判断できる状況

- 1 生命が危ぶまれるような状況が確認される、もしくは予測される
 - ・骨折、頭蓋内出血、重傷のやけどなどの深刻な身体的外傷
 - ・極端な栄養不良、脱水症状
 - ・「うめき声が聞こえる」などの深刻な状況が予測される情報
 - ・器物（刃物、食器など）を使った暴力の実施もしくは脅しがあり、エスカレートすると生命の危険性が予測される
- 2 本人や家族の人格や精神状況に歪みを生じさせている、もしくはそのおそれがある
 - ・虐待を理由として、本人の人格や精神症状に著しい歪みを生じている
 - ・家族の間で虐待の連鎖が起こり始めている
- 3 虐待が恒常化しており、改善の見込みが立たない
 - ・虐待が恒常的に行われているが、虐待者の自覚や改善意欲がみられない
 - ・虐待者の人格や生活態度の偏りや社会不適応行動が強く、介入そのものが困難であったり改善が望めそうにない。
- 4 高齢者本人が保護を求めている
 - ・高齢者本人が明確に保護を求めている。

出典：「市町村・都道府県における 高齢者虐待への対応と養護者支援について」（平成18年4月厚生労働省老健局）

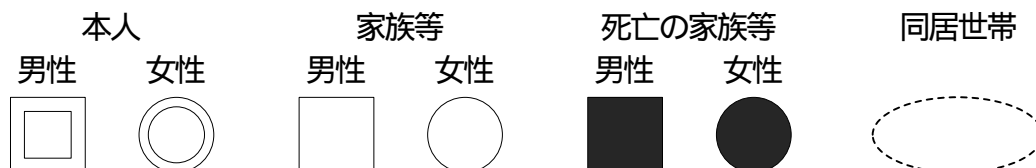
対応事例は、各市町職員・地域包括支援センター職員の皆様に、実際の事例を参考に執筆していただいたものです。そのため、事例に登場する人物等は、実在するものではありません。

事例の記載方法

家族構成について

- ・家族構成を図式化したもので、本人を中心に家族、その他重要他者を記載した。
- ・記号とともに、「被虐待者」、「虐待者」、「主たる介護者」を記載した。
- ・婚姻関係、子供は実線で関係を表している。

家族構成の記号



記載事例の説明

- ・支援の経過は、「相談・通報の受理」「事実確認」「コアミーティング会議等」「支援の実施」「支援の終結」の段階に沿って整理した。
- ・支援の経過は、相談日を起点とし、それぞれの支援段階に至るまでの期間を明示した。
- ・相談経路は順を追って矢印で記載し、相談者が虐待と思われた事例等を相談の内容に記載した。
- ・事実確認を実施し、本人・家族の状況はそれぞれ囲み枠で記載。本人・家族の訴えは囲み枠を用い横に並べて記載している。
- ・それぞれの段階での支援について、「市町村・都道府県における高齢者虐待への対応と養護者支援について（厚生労働省）」、「市町村・地域包括支援センター・都道府県のための養護者による高齢者虐待対応の手引き（日本社会福祉士会）」等や、実際に高齢者虐待の対応を行っている、高齢者虐待防止部会の部会員からの意見を参考に、支援等のポイントについて記載した。
- ・掲載事例の会議は、各市で会議名称があるが「市町村・都道府県における高齢者虐待への対応と養護者支援について」の記載の「コアメンバー会議」、「個別ケース会議」とし、参加者を明示した。
- ・支援の評価については、執筆者や高齢者虐待部会が、事例についてコメントを記載した。